

夕刊 日三月二
常磐毎日新聞
 刊日
 定価 一紙五錢 一月五拾五錢 半年二百五十錢 一年五百錢
 廣告料 五錢 一文字一錢 一行五錢 五拾錢
 日曜 祭日の日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社
 電話 六三〇 六三〇



或る女
 村瀬 忠夫

「餘計なお世話無用だよ」と言つてやりたいた位であるが人前で餘り話の出来ない光一には難しい處當であつた。そんな場合いつも代役を引受けるのは妹道子で「お金さへ毎月キチンと差上げて居りさへすれば文句は無いでせう」「いゝえ夫れはいつもキチンと……」「なら干渉無用よ、私など親の言ふ事も餘り聞かないのよ、まして小母さんの事など薬にしたくて……」と赤い氣焔をはかれて終末は「活潑なお嬢さん」と言つて笑つてお茶をにこしてしまふのが常である。直ぐ近所の酒屋の娘の三枝子は道子と同級で、夜などよく遊びに来た。三枝子は秘かに光一の事を思つて居たらしい、三人してよくトランプなどして時間を過し、果は笑談を言つたり、新聞の三面記事の批評などし合つて十二時頃迄遊んで居る事がある、最初は道子の居る時しか夫れも来なかつたが、

近頃は反對に留守を伺つては入つて来て、何か映畫の事、和歌、俳句の批評感想など話しかけるが、無口な光一は「ウンウン」聽いて居るばかりで、こちらからは何も話さない、光一は三枝子みたいな大家のお嬢さん育ちの我儘な話振り態度が大嫌ひであつた。

日曜の午後、すがすがしい秋の新鮮な空気を呼吸して、日記帳を手に窓に腰を下して居た、妹はマーケツトに買物に出て行つたらしい、窓の下で近所のいたづらつ子が、いつのまに五六

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 【朝】味噌汁——さつま芋 小井 納豆
 【晝】ラード焼魚 煮物 馬鈴薯 甘辛煮
 【晚】酢の物 大和芋 もみのり ちり鍋(豆腐 こんぶしき)

人集つたかさわいで居た。「ウルセイ！」光一は怒鳴つた、蜘蛛の子を散らす様にわめいて去つた。其後はシーンと静まり返つて何も聞えない。偶に下の小母さんのかん高い語聲が聞えるだけである。日記帳をめくつて居る内、一寸目に止つた。

九月四日 火曜日
 美奈子と約束の時間九時迄にお茶の水へ行つた。二十分程待つたが未だ姿を見せない。「人馬鹿にしてるナア」「だがあれに限つて」仕方ないから歸らうとする所へ、忙しく走つて来た。「どうもおそくなりましてすみません」「急用出来たので、夫れをすまして来ましたので……」
 「……」「光一さんずい分お待ちになつたでせう」「……」「……」
 一時間後上野公園を散止して居た。いざお別れとなると何も話が出ない。「もう一度出て来るだらうね」「いゝえ出て来ますわ」「どんな事があつたにせよ、必つと……」
 「夕方迄に横濱へ歸ればよいのでせう」「そうよなるだけ遅くならぬ内にね」「女の子一人遅く夜の港まちを歩くと危険だからね、まして何も知らぬお嬢さんはね」「ホホ、嫌な光一さん、笑談にもほどがあるわ、私なんて誘惑出来たら懸賞金を出してもよいわ」「どういゝ」「それや言へないわ、……」……東京府美術館に立寄らうとしたがオヂヤンになつた。

花環 神佛葬具
 久壽玉
 御弔燈
 寶明燈
 靈柩自動車
造花
 は川新平
 本橋
 屋
 三六一電

有給社員募集
 一、地方擴張ノ爲男女十數名募集ス
 固定給ノ外歩合アリ
 二、資格者 經驗ノ有無ニ不拘指導ス
 但シ誠義奮闘家ヲ望ム 希望者ハ午前中當出張所へ面談アラレタシ
 野村生命保險株式會社
 磐城出張所 平町長橋町四七
 主任 福島 健之

吉田眼科醫院
 平紺屋町 電話六八番
 醫學士 吉田久雄

かまぼこ 製造
 杉本 造
 平町一丁目
不寐寶
 お惣菜用
 さつま揚
 吉原揚
 電話一四一番

呼吸患救済の王……
 陸海軍御用
 帝國大學醫學部御用
 官公立醫學專門學校御用
吸入用 酸素
體溫計(メイトル)
 御用命次第迅速に御届け致します
 平町古鍛冶町一〇縣社ノ下
 處方箋調劑所 **阿康藥局**
 電話 四四番
 振替口座東京三〇五番

お年始のお客様に
 魚清のサービス
 さしみと御飯 吸物おしんこ付
 二十五錢
 三品 五十せん
 五品 八十せん
魚清食堂
 平二番茶室裏通り
 電話六三三

專門
 産婦人科
 花柳病科
 ◎入院隨意
井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

平署が音頭取りで違反根絶の

町村公職者座談會

本三日は第三區候補者が署會議室で選挙打合せ會を行った

平署は今次選挙に當つて一層肅正の實を擧げ亦取締り法規の徹底的普及理解を一般に浸透させ防犯の實を擧げる目的で管内各町村公職者に對して特に選挙違反防止に關する座談會を開催することになり近々平町に於ても開催するが日割決定した町村は

△磐崎村(六日) △湯本(五日) △小名濱町(五日)

であるが、本三日は縣より八卷刑事課長、氏家檢察官來平して午後一時より平署會議室に第三區衆議員院議員各立候補者、選挙事務主任が今次選挙打合せ會を

行つた

電話窓口

郡下の郵便局では

今回行はる、総選挙期間中二月一日から来る廿日まで電話の通話及び呼び出しの窓口取扱時間を延長し一般利用者の便を圖つてゐるがその時刻は集配局が午前七時から午後十一時まで無集配局は午前八時から午後十一時までである

磐炭試掘許可

磐城炭礦出願に係る内郷村、飯野兩村地下百四萬六千坪の石炭試掘額は此程許可された

卓球選手権

横山君(人絹)優勝

第三校の郡下大會

既報平第三小學校卓球部主催の第五回個人選手権大會昨日午前十時から同校講堂に開催郡下の強豪五十餘名が参加し劈頭より大混戦を演じたが新進の昭和入組横山君の奮闘物凄く決勝戦

に准み優勝候補と目された平營林君の信澤君を四對二で軽く一蹴し本年度優勝旗を獲得した準決勝よりの成績左の如くである(準決勝)

石城地方の受験増加

昨年より二萬俵増

平米穀検査所の新米受檢數は一日下旬現在で六萬俵で昨年同期の五萬俵より一萬俵増加して居り今月末迄には更に一萬俵近い受檢額がある模様なので係官は多忙を極めて居るが受檢米の相場高が一般に徹底した爲めである

新米出廻り

共販値下る

共販前回より八錢安

既報石城販賣利用組合平農業倉庫の共同販賣は昨日同所で行はれ三等米一俵四等二百五十四俵、五等三百二十二俵、等外百五十二俵、計七百二十九俵を入札したが高値一俵十一圓二六錢、安値十一圓七錢で落札したが新米出廻りと東京市場のデリア安に押され前回より八錢の安値を見た

平窪青年總會

平窪青年團は来る十一日の紀元節の佳日とし總會を開くが千葉平第二小學校長が

の如く決定した(四日)學務委員會(五日)建國祭打合(七日)學年會(八日)圖書競技會(九日)小學校長會(十一日)紀元節(十七日)神宮祈年祭(廿三日)第三區圖書競技會(廿八日)珠算競技會

△鎌田町一五和田タカさん(六九)

△南町二五當時湯本町大字湯本青柳茂氏(七一)

△三倉五八當時東京市小石川區七富反町二三青木吉壽氏(四五)

△長橋町四八川角カネさん(六四)

△北目町九谷地春吉(七三)さん

店主が店員を連れて行かれる
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場
平・田町レストサロン 電三五二番

平町土橋通り 電話三一三番

院長 醫學士 原 精一

原齒科醫院

喜多流 謠曲と仕舞の稽古をお奨め致します

平町田町六九

喜多流 仕舞白土會

入會隨時

電話一二七番

磐城セメント會社特約店

入會隨時

電話一二七番

喜多流 謠曲と仕舞の稽古をお奨め致します

平町田町六九

喜多流 仕舞白土會

入會隨時

電話一二七番

お年始に

鰹節

魚問屋

商榮盛賀志

(三一二電)目丁四平

謎の變死体

爲替振出人は 四倉町に別在

怪死体の遺留品は 果然盜難品と判明

【既報】小名濱町西町海岸地内陸上船好徳丸内に窒息死してゐた變死體に就いては所持してゐた額面百五圓の郵便爲替受領證を唯一の手掛りに身元調査の鍵を握る

四倉局に該爲替の振出人照會を行つた結果、前記爲替受領證は盗むたもので身元は何れの者とも判明せず窃盜行脚を續けてゐた者の末路と見られるが依然謎の男である

稀代の偽畫家

玉齋の公判迫る

白日下に暴露される罪状 全國を股に超インチキ振り

既報小名濱町吉田屋旅館に陣取り地方民より二千餘圓を捲上げた外全國を股にかけ三萬六千餘圓を横領平署に檢舉された東京市板橋區大谷は町六九インチキ畫伯玉齋事竹田由次郎(六〇)の稀代の詐欺事件第一回公判は來る七日平區裁判所で中島判事係り氏家檢事立會の下に開廷される

兒童圖畫競技 平第

二小學校は來る四日午前十時より同校議堂で尋四以下

寒氣は無情

また凍死男

本三日前六時頃警備村大字下船尾地内縣道に四十歳位労働者風の變死体あるを通行人が發見平署から瓜生部長が検視に出張したが凍死の模様である

強風中の 書山火事

學童消火に奮闘

昨日書頃名物の空ツ風が吹きまくる最中飯野村大字下荒川宇南作地内同村阿部積之助外一名所有の雜木林から發火強風にあふられて見る／＼燃え擴がったが附近農夫小學兒童外消防手冊餘名が消火に努めたので約

二反歩を踏んだのみで午後一時半鎮火した原因は同村山崎喜平治(三〇)が寒さしのぎに焚火したのが折柄の空ツ風にあふられて附近の枯木に燃え移つたもので損害六十餘圓消火に努めた一同は近く同村から表彰される模様である

招魂祭費にと 掃海兵の美譽

植田出身の渡邊君

植田町において舊臘招魂祭執行の折祭典費の一部に加へられた旨の手紙を送つて三圓五十錢の小爲替を送附して來た善行の士があつたが右は同町出身横須賀第一掃海隊第四號掃海艇第一分隊渡邊義雄君と判明した酌婦を嫌つて

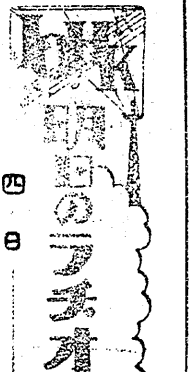
女中稼ご

雇主から捜査願

茨城縣久慈郡久慈町宇新宿飲食店磯崎吉方酌婦栃木縣那須郡黒羽町宇前田正重妹鈴木イノ(三〇)は昨年九月中前借八十五圓で同家に雇はれたが去る一月廿四日午前一時頃無断家出捜査中のところ、同月卅日平局の消印あるバガキで某會社員方の女中になつて働へて居りますと音信あつたからと雇主から二日捜査方願ひ出た

不孝な伴に 説諭願ひ

江名濱町仲見屋所有船新吳丸機關士青森縣北郡百石町生元吉長男木村幸之助(三〇)は昨年十月頃江名町に



今晚の部

後六、〇 子供の時間 童話劇「成吉思汗」鬼豆打「東京放送童話劇協會」後六、二五 基礎英語講座(七七) 岡倉由二郎(七七) 岡倉由二郎(七七) 山「茶道雑話」大原孫三郎(後八、〇) 長唄「蓬來」

前七、〇 基礎下(講座)武内(選)朝の修養「阿彌陀經」(二) 稻垣真我前九、〇〇 衛生メモ「木琴獨奏」吉川翠芳前一〇、三〇 家庭講座「種痘の話」城井尚義後一〇、五五 琵琶「二〇三高地」松岡旭岡後二、〇〇 小學生尋三の時間 唱歌 能代子後二、四〇 小學生高一國語の時間「ペートル大帝」村川堅固後六、〇〇 子供の時間

捕へた賊は 意外旅の大者

小名の窃盜數件並に 東京での舊患自白

山形縣生れ住居不定ルンベン窃盜前科二犯影山義定(三七)は昨夜半小名濱町中島雜貨店太田屋に忍び込まんとした所を折柄密行中の駐在巡查に檢舉され取調中の結果昨年十月十三日東京市澁谷區竹下町館業新井幸太郎氏方に宿泊十餘圓の宿料を踏倒し逃走小名濱町に入り込み數件の窃盜行動いた事自白したが過般來町内に頻々と起つた窃盜事件は同人の仕業と見られてゐる

支部創立

親摺組合勿來支部

既報動力利用親摺同業組合の勿來支部發會式並に總會は昨日午前十時より勿來組合樓上で開會規約制定後役員選舉の結果左の如く決定した 支部長小松清三 會計下

無錢飲食

玉川村大字岩出字向ひ農鈴木寅男(三九)は昨日午後六

お話「節分」加藤繁(後六、二五) 澤澤(一)「選舉取締の目標」清水重夫(後七、二五) オリズムピツク日獨國際放送(オリムピツク)氷ト選手挨拶と音楽「ドイツガルミッシュ」(後八、〇〇) 東西節分追難式實況(一) 神戸長田神社中繼(後八、一五) 東京護國寺(後八、三五) 狂言「節分野」村又三郎他(後八、五五) 講談「酒井の太鼓」伊東凌湖

平職業紹介所報告 人を求める方 回 職を求める方 十圓 精米店員廿才迄 月給五圓 女工廿才迄 月給七圓 通勤三十錢 表具見習廿才迄 年給三十圓 染洗見習十八才 給料小遣仕着

男女工見習

右至急募集す 希望者來談あれ 常磐毎日印刷會社 長橋町 電話六三〇

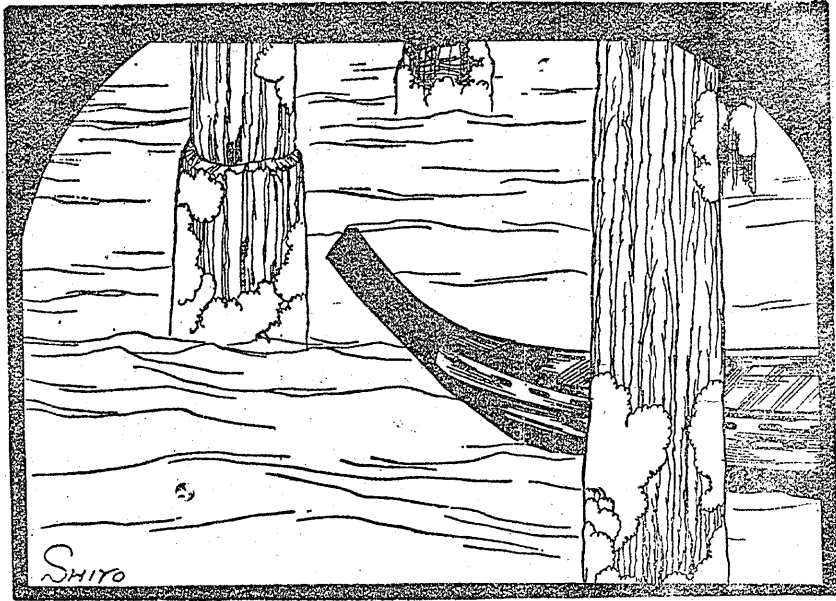


(禁上映上)

悟道軒圓玉 (作) 丸尾至陽 (畫)

三八 船中の密議

三島三郎に吉野政助は松平新十郎の厚意に依て網の如く張られた警戒線をくぐり向島をあとにして淺草の廣小路まで来たが、こゝで別れて麴町善谷寺谷の隠家に引き上げた、これより姿をかえて深川の中川町の細谷忠齋のもとを訪ふ、忠齋は同志のもとと共に隅田川に船を浮かべてこゝで安藤閣老を討つことについての協議をひらく、舟の中でこんな危険なことを議するとは幕府の役人も気がつかぬ同志はまづ細谷忠齋、相馬千之助、淺田儀助豊島邦之助、吉野政助、高畑萬藏、内田萬之助など何れも慷慨家で、多血性の人物ばかり時に細谷忠齋が容を正し人々に向ひ



SHIRO

やうにては近年の内にこの日本は異人のために奪はれずには相違ない、なほこの度長くも和宮様の御降嫁を願がひ京都と幕府の間を丸くおさめんとし苦心、否奸策

を拜る、こゝにこの事、つて外國と貿易御免の勅詔を得る手段である、この事相かなはざる節は長くも至尊を北條の故智にならひ他に御遷し申さんとの企てあるとのこと、これらは臣と

してなすべからざることであるその證とも申すべきは和學者共に申し付けて廢帝の古事を調査なさしめ居るとのこと、實に將軍家を不義に引き入れ、萬世の後までも悪遊の汚名をながし、北條足利にもまさる悪遊、かくの如き悪人をしてこの大切な國の政事を任せ置いては日本は遠からず異人のために横領されるは必定依つて我こそはこゝに命を捨て天にかわつてこの大奸賊を斬り、幕府の改革をいたさずばなるまい、各々は何と思はれる

と意を問うた、一同はこれを聞いて血湧き肉躍り満面朱を注ぎ腥をたいたその時に三島三郎が三「忠齋どの御説道理致極かつて水戸の浪士が大老掃部頭の首を討つたは幕府の

役人共をしてかくごなさしめるため、然るに安藤閣老は更にかくごいたさず、井伊大老にまさる暴逆無道、捨ておくことはならぬ、一刻も早く彼の首をはねてばくふの改革をいたさねばなるまい、ついで何時この大事を擧げるか、その時日をこゝに定めて置きたい」と申しました、忠齋は考へてゐたが

忠「安藤閣老は當時病中に濱町河岸の屋敷に引きこもり、加養中とのこと」三「それは好都合、屋敷に忍び込んで彼を討取ることにいたす」忠「イヤそれはなるまい、自分もその考へをもつて居ることゝしてひそかに探りを入れたが、嚴重に警固をつけ出入町人とても一々たゞさねば門内には入れぬとのこと、それに夜中は多人數にて警固いたし居ると聞き及ぶ、しからばかゝる小勢にて屋敷に押し寄せればとて目的をけることはなるまい」三「ウーム、油断なく警固をつけて居るか」忠「よつて祝日の登城を待ち襲撃いたすこととしてはどうか、その祝日とても是非に登城いたさねばならぬ日を選ぶ、もう本年は餘日もなくこの年末には登城もいたすまい、明年の正月即ち十五日はもつとも大切な祝日であればたとへ病中なればとて押して登城いたすことと思ふ」三「なる程、してその場所は」

市原醫院

平町田町(電一四番)
内科 小兒科 市原卯太郎
外科 梅毒・淋病 市原三三男
入院隨時

石炭
コークス
豆炭
阿部石炭店
平 驛 前
電話三十七番

玉屋
平町田町通電話六五六番

ほねぞう
桑原柔道整骨院
平町園下電話六七四

食事・喫茶・酒場。を兼ねた
佛蘭西 御料理
サロシ
平町 電三五二番

耳鼻科専門
大和田醫院
平町 南町一六(電話一七〇番)